

川口市立医療センター広報紙

はな みず き 花水木

特集

2020.7.1 Vol.44

病院薬剤師の業務紹介

撮影場所:グリーンセンター



基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い医療を提供します

川口市立医療センター「みみたーズ」

イメージキャラクター 「みみたーズ」

"よく聞き・よく診て・よく説明する"

家中の中でも熱中症の危険が！

毎年夏になると、熱中症による救急搬送が増加します。特に今年は、マスク着用による脱水症状や、外出自粛の運動不足による体温調節機能の低下などで、熱中症のリスクが高まっています。

熱中症は、気温や湿度が高い環境下で、体温が上がり、体内の水分やナトリウムなどの塩分のバランスが崩れることができます。めまいや頭痛、吐き気などの症状のほか、重症化するといいれんや意識障害など命にかかる危険な症状を引き起こします。特に、子どもや高齢者は熱中症になりやすいので注意が必要です。**また、熱中症は屋内でも発生します。**

熱中症発生場所

※消防庁「2019年(5月～9月)の熱中症による救急搬送状況」より



熱中症予防のポイント

- 屋外では日陰を歩く、日傘や帽子を使用する、屋内ではエアコン・扇風機を使用するなど暑さを避ける。
- 吸水性に優れた素材の服や、襟元が広い服などを着る。太陽光を吸収しやすい黒色の服は避ける。
- のどが渴いてなくても、こまめに水分を摂取する。**汗をかいたらスポーツ飲料などで塩分も摂取する。
- 保冷剤・冷感タオルを活用する。
- 軽い運動などで汗をかく習慣を身につけ、暑さに備えた体づくりを行う。
- 3食をきちんと食べ、よく睡眠をとり疲労を溜めない。

熱中症の症状が現れた人がいたら

- 日陰やエアコンの効いた涼しい場所へ移動させる。
- 衣服をゆるめ、体内の熱を外に逃がす。
- 首や脇の下、足のつけ根に水をかけたり氷を当てたりして冷やし、体温を下げる。
- 水分や塩分を摂取させる。

自力で水が飲めない、呼びかけに反応しないときは、すぐに救急車を呼んでください。

体調管理に気を付けて、暑い夏を乗り切りましょう。

病院薬剤師の業務紹介

「アンサング・シンデレラ」という病院薬剤師が初の主人公となったドラマやコミックをご存知ですか。以前は病院内の薬局で薬を作ることが中心だった病院薬剤師の業務は、この四半世紀で大きく変わりました。外来患者さんの薬は院外の調剤薬局で作られるようになり、代わりに病院内の薬剤師は入院患者さんのベッドサイドで服薬指導や、チーム医療の一員として医師らと協働して薬物療法を実践していくようになりました。「アンサング」という言葉は「縁の下で支える」「目立たない」という意味があるそうですが、そんな病院薬剤師の業務についてご紹介します。

「有効」で「安全」な薬物療法を守る

病院薬剤師の業務は薬を作つて供給すること（調剤、製剤、無菌調製、医薬品管理）、薬の情報を把握して必要な情報を提供すること（医薬品情報）、入院患者さんに薬の説明や必要な指導を行うこと（薬剤管理指導）、他の医療者と一緒に患者さんにとってより良い治療を考えること（病棟薬剤業務）など多岐にわたります。

私たちの日々の業務では、入院患者さんのアレルギーや副作用の有無、カルテや紹介状の内容、検査結果などから患者さんの状態や治療方針を確認しています。そして、直接患者さんやご家族と面談を行い、使用中や使用予定の薬の説明や必要な療養指導を行う中で、患者さんの不安や悩みに寄り添い、困っていることがあれば一緒に解決策を探しています。また、薬のプロとして、他の医療者からの薬物治療に関する相談や適切な使用のための助言をしています。

どんな時でも「切らして」はいけない

薬は病気やケガを治療する上でなくてはならないものであり、決して切らしてはいけません。昨年はマスコミ報道などでもあったように、薬の供給が止まってしまったために、治療ができなくなるということが一部であったようです。災害や感染症の流行など、さまざまな理由で薬の供給に支障が出ることがありますが、薬剤師が適切な医薬品の管理と類薬などを含めた流通管理を行うことで、安定的に薬を提供できるよう努めています。

これからの病院薬剤師

薬学部が6年制となって10年が経過しました。大学病院や在宅医療の現場などでは、薬剤師が患者さんの呼吸音や心音、腸の音などを聴いて、薬の効果や副作用を確認（フィジカルアセスメント）しているところもあるそうです。近い将来、当院の薬剤師も聴診器を持ってベッドサイドに行き、その存在がもっと認知される日が来ることでしょう。しかし時代が変わっても、有効で安全な薬物療法の安定的な継続のためにには、薬剤師の様々な視点からの業務支援が必要であることに変わりはありません。そういう意味では「アンサング」という言葉は、病院薬剤師にピッタリなのかもしれませんね。



こんな施設もあります

患者さんやご家族、職員を支援するためのサービス施設などの一部をご紹介します。

*状況により、営業時間等は変更になる場合があります

理容室(地下1階)

どなたでもご利用になります。

営業時間：9時～18時

定休日：第2・4土曜日、祝日



タリーズコーヒー(1階)

コーヒー、ドーナツ、パスタも。

営業時間：平日＝7時30分～20時

第1・3・5土曜日＝7時30分～18時

第2・4土曜日、日・祝日＝10時～18時



ローソン(1階)

イトインコーナーも併設しています。

営業時間：平日＝7時～20時

第1・3・5土曜日＝7時～18時

第2・4土曜日、日・祝日＝8時～18時



ファックスコーナー(1階)

院外の薬局に処方箋のファックスを送り、薬を準備してもらうサービスです。

利用時間：平日＝8時30分～17時

第1・3・5土曜日＝8時30分～13時30分



埼玉りそな銀行ATMコーナー(1階)

いざという時、頼りになります。

利用時間：平日＝9時～19時

土曜日＝9時～17時



屋上庭園

光や風を感じられる開放的な屋上庭園。
快適な散歩が楽しめます。

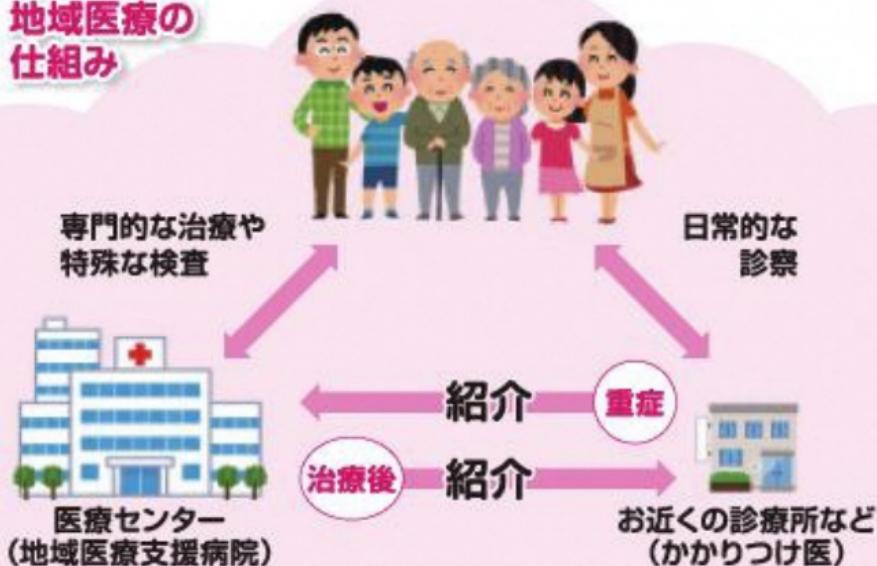


ヘリポート

立体駐車場の屋上にはドクターヘリを受け入れるヘリポート。大規模な災害対策訓練の際も使用されます。



地域医療の仕組み



バス案内 (国際興業バス)

川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス(川口市コミュニティバス)

みんななかまバス

埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)

総合受付の「5」会計受付にてパーキング カードを販売しております。
(1,000円券・3,000円券)

駐車台数 約600台収容

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦
編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)



ホームページ